

令和 6 年 6 月 7 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2018～2022

課題番号：18H03640

研究課題名(和文) 契約と組織の先端的経済分析

研究課題名(英文) The Frontier of Contract Theory and Organizational Economics

研究代表者

伊藤 秀史 (Itoh, Hideshi)

早稲田大学・商学大学院(経営管理研究科)・教授

研究者番号：80203165

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 33,600,000円

研究成果の概要(和文)：以下のワークショップ、コンファレンス、学会報告、学術出版を通じて、契約理論と組織の経済学分野で、複数大学にまたがる国際水準の研究拠点を形成する成果をあげてきた。(1) 定期的な月例ワークショップCTW (2) 各年度8月上旬のサマー・コンファレンス(2020～2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止) (3) 各年度12月に開催され、日本、台湾、香港、韓国の研究者を中心とする東アジア国際共同コンファレンス(2020～2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止) (4) その他のコンファレンス、ワークショップ (5) 国内外学会等での研究報告・研究交流および学術出版。

研究成果の学術的意義や社会的意義

契約理論と組織の経済学の分野の複数大学にまたがる研究拠点として、25年を超える期間にわたって毎年ほぼ毎月定期的にワークショップ開催を継続し、ワークショップでの報告から学術出版につなげ続けている研究組織は、国内はいうまでもなく海外にもほとんど存在せず、国際的にも同分野のハブとして機能し続けることの学術的意義は大きい。さらに同分野の研究成果が国内学界、官庁、実業界における共有知識となっていない中で、本研究成果は教科書出版、雑誌連載、学部教育、大学院教育、ビジネススクール教育等で地道に貢献を続けるという社会的意義につながっている。

研究成果の概要(英文)：We contributed to the development of basic and applied research in the field of contract theory and organizational economics, and the formation of inter-university research network at the level of the international standard, through the following workshops, conferences, and academic presentations and publications: (1) Regular monthly workshops (CTW); (2) Summer conferences held every August (not held in person due to COVID-19 for 2020-2022); (3) International theory conferences joint with scholars in Taiwan, Hong Kong, Korea, and other Asian and Pacific nations held every December (not held due to COVID-19 for 2020-2022); (4) Other conferences and workshops; and (5) Academic presentations and interactions at domestic and international conferences and academic publications.

研究分野：契約理論と組織の経済学

キーワード：契約理論 組織の経済学 ミクロ経済学 産業組織論 行動経済学

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

「あらゆる社会制度におけるインセンティブの分析 (Myerson, 1999)」を行う現代の経済学者は、人の行動を望ましくない方向に導くさまざまなインセンティブ問題を「モラル・ハザード」「アドバース・セレクション」「マルチタスク問題」「ホールドアップ問題」などの専門用語で整理し共有するようになった。その背景には、適切なインセンティブを設計する問題を明示的に扱う、契約理論 (contract theory) の進展がある。その応用範囲は多岐にわたっている。

契約理論の有効性はすでに国際的に確立しており、たとえば最近 10 年間のノーベル経済学賞でみても、2014 年受賞者の Tirole の受賞理由「市場支配力と規制の分析」のうち、規制の理論分析は契約理論の応用研究であり、さらに 2016 年には、Hart と Holmstrom が「契約理論への貢献」で受賞した。新古典派モデルに対する諸批判を扱う研究が発展し、次第に契約理論という名称でまとめられるようになったという経緯から、一般均衡理論やゲーム理論と比べて長く日陰の存在だった契約理論は、ミクロ経済学を支える第 3 の理論としての地位を確かなものにしたといえよう (伊藤, 2007)。

応用分野では、特に組織の経済学とその周辺領域への応用研究が盛んである。国際的には経済学部とビジネススクールに所属する経済学者の貢献によって現実と理論の間の好循環が生まれ出され、基礎と応用理論の発展が続いている。2013 年には、組織の経済学の分野をリードする Robert Gibbons, John Roberts 両氏編集による Handbook of Organizational Economics が出版され、現時点での研究成果がまとめられている (Gibbons and Roberts, 2013)。

契約理論とその応用分野が依然として最先端理論分野であることにも疑いの余地はない。2010 年以降のジョン・ベイツ・クラーク・メダリストのうち、2011 年の Levin は関係的契約理論、2014 年の Gentzkow は情報伝達理論、2016 年の Sannikov は連続時間契約理論への理論的貢献が評価されている。以下で説明されるように、これらの理論は本研究が重点をおく研究分野に含まれる。

しかし国内では、価格理論、ゲーム理論、メカニズム・デザイン理論などと比べて、契約理論および組織の経済学の研究者層は薄い。関連学会は国内に存在せず、契約理論自体および応用研究を行う研究者数は、たとえば産業組織や国際貿易分野において寡占や独占的競争などの不完全競争モデルを応用する研究者と比べて著しく少ない。そのため日本発の研究蓄積は国際的にみて不十分なままで、そのことが契約理論とその応用研究の進展、ひいては政策への反映を妨げる、という悪循環に陥っている。また、かつて日本企業組織において顕著な特徴と指摘されたこともあるチーム組織、長期継続的取引慣行、水平的情報伝達などは、海外研究者による精緻な契約理論的研究によって注目されるようになってきたが、本来重要な貢献をすべき国内発の研究成果は限定的で、国内学界、官庁、実業界における共有知識となっていない。

このような状況を打開するためには、大学単位ではなく複数の大学にまたがる恒常的研究拠点を国内に形成し、密な研究交流の場を創り国際水準の研究成果を蓄積するとともに、国際学会での報告および国内での国際コンファレンスの開催等を通して国際的プレゼンスを高め、国内から研究成果を世界に向けて発信することを継続することが不可欠である。

そのような思いから、研究代表者と研究分担者の小佐野広が中心となって、契約理論ワークショップ (Contract Theory Workshop, 略称 CTW) を組織し、1996 年 4 月から開始することになった。毎月 1 回土曜日の午後から夜にかけての時間を費やす CTW は、本研究開始年の 2018 年 4 月から 23 年目に入り、終了年の 2023 年 4 月からは 28 年目に入る。契約理論と組織の経済学の分野の国内唯一の定期的ワークショップとして知られ、海外でも注目度が上がってきている (詳細は 5. 主な発表論文等〔その他〕に記載のホームページを参照のこと)。当初は参加者の自費参加で始まった CTW は、その後、学術振興野村基金研究助成 (2001 年度)、科研費基盤研究 (B) (2007 ~ 2008 年度)、学術振興野村基金外国人研究者招聘助成 (2008, 2009 年)、科研費基盤研究 (A) (2013 ~ 2017 年度) などの研究助成を得て今日まで継続している。その間 CTW からは多くの学術論文、論文集、教科書等が生まれ、一定の成果をあげてきた。また、契約理論と組織の経済学の分野で活躍する研究者を海外から招聘し、研究報告、研究交流、大学院生指導の機会をつくりはじめている。2007 年に Japan-Taiwan Contract Theory Conference としてはじまった国際共同コンファレンスは、その後毎年 12 月に開催され、2014 年には香港ではじめて開催され Japan-Taiwan-Hong Kong Contract Theory Conference へと拡大した。

しかし、国外研究者との研究交流をいっそう密にし、日本における契約理論と組織の経済学の研究水準を国際レベルへと向上させ、学会や学術成果を通して国際的な認知度を高め、日本発の研究を世界に向けて発信するためには、より大規模で継続的な研究助成を得ることが必要と判断するにいたった。とりわけ、海外の研究者の招聘、研究者・大学院生の海外セミナー・学会での研究報告、よりグローバルな国際共同コンファレンスの開催、などを定期的に行っていくためには、単発的な研究助成では限度がある。

〔引用文献〕

- (1) Myerson, Roger B. (1999) "Nash Equilibrium and the History of Economic Theory", *Journal of Economic Literature* 37, 1067-1082.
- (2) 伊藤秀史 (2007) 「契約理論——ミクロ経済学第 3 の理論への道程——」『経済学史研究』49 巻 2 号, 52-62, 2007 年 12 月 .
- (3) Gibbons, Robert and Roberts, John (2013) *The Handbook of Organizational Economics*. Princeton University Press.

2. 研究の目的

本研究の目的は、次の 3 点にまとめられる。(1) 現代ミクロ経済理論の柱のひとつである契約理論 (contract theory) 全般および複数の先端的個別分野 (関係的契約理論, 情報伝達理論, 行動契約理論, 一般均衡論的拡張, 契約理論と交渉理論の相互浸透) について、主に理論分析を継続的に行い、国際水準の研究成果を蓄積して契約理論の進展に貢献する。(2) 広義の契約理論的アプローチで、組織と市場の相互関係および組織内部を対象とする組織の経済学全般への応用研究、さらに先端的個別分野 (連続時間契約理論, 産業組織論, 人事経済学) での応用研究を継続的に行い、国際水準の研究成果を蓄積し組織の経済学の進展に貢献する。(3) 以上の研究蓄積を通じて、契約理論と組織の経済学の最先端分野で活躍する研究者が参加する定期的な国内ワークショップと、毎年定期的開催する国際コンファレンスを軸として、国際水準の国内研究拠点とネットワークを維持しつつ、新たな国際的ネットワークを発展させ、国内外に研究成果を発信し国際的プレゼンスを高める。

本研究は、大きく基礎研究と応用研究に分かれる。基礎研究では、これまでの契約理論の発展をふまえて、契約理論の分野で国際水準の貢献を行い、応用分析のための分析手法を開発することを目的とする。特に本プロジェクトの研究組織に即した以下の先端的個別分野に重点をおく。(1) 関係的契約理論 (2) 情報伝達理論 (3) 行動契約理論 (4) 一般均衡論的拡張 (5) 契約理論と交渉理論の相互浸透、などをあげることができる。しかし、特定の研究内容に焦点を当てるよりもむしろ、契約理論全体への国際水準の貢献を行い、発信していくことに特色がある。

応用研究は、契約理論との関連が密接な (広い意味での) 「組織」(企業組織, 政府組織, 産業組織) の理論・実証分析に絞る。特に以下の先端的個別分野の応用研究に重点をおき、それぞれの分野で国際水準の研究成果の蓄積と発信をめざす。(1) 連続時間契約理論の応用研究 (2) 産業組織論への応用 (3) 人事経済学への応用。

本研究では特にアジアを超えて国際的ネットワークを発展させ、研究拠点の国際水準とプレゼンスを向上させることを重視し、ドイツの契約理論を中心とする理論研究者との定期的な国際コンファレンス開催、欧米で 2015 年から毎年 1 回開催されている Workshop on Relational Contracts への研究者派遣および日本開催、および本研究と関連の深い国際学会 Society for Institutional & Organizational Economics (SIOE) の年次大会への研究者派遣、報告セッション提案をめざす。

3. 研究の方法

本研究プロジェクトは、研究代表者、研究分担者、大学院生を含む研究協力者等が、契約理論と組織の経済分析に関する各自の研究の原案を定期的に契約理論ワークショップ (CTW) で発表し、ワークショップでの他の研究者からの意見や批判を参考にその原案を改善し、最終的な研究成果をまとめていくというスタイルをとる。

2018~2023 年度を通して、原則 8, 9, 12 月を除く毎月通常第 3 土曜日午後、大阪または京都で契約理論ワークショップ (CTW) を開催する。国内外から新進気鋭の関連研究者を随時招聘して、研究全体の水準を高めていく。毎年 8 月に 2 泊 3 日程度でサマー・コンファレンスを開催し、大学院生および若手研究者を中心に主要な問題提起と研究プロポーザルを報告してもらい、研究の方向性を集中的に討議する。毎年 12 月に東アジア圏の研究者と国際共同コンファレンスを開催する。以上の機会の他に、国内外のセミナー・学会等での研究報告を継続的に行い、国際学術雑誌等で研究成果を蓄積する。

4. 研究成果

(1) 定期的ワークショップ (CTW)

2018~2023 年度の各年度において、原則 8, 9, 12 月を除く毎月通常第 3 土曜日午後、大阪または京都で定期研究会を開催した。ただし新型コロナウイルス感染症の影響で 2020~2021 年度は対面開催を中止し、28 回オンラインで代替研究会 (CTWZ) が開催された。2022 年度 5 月よりハイブリッド形式で対面研究会を再開し、2023 年 3 月の CTW25 周年記念コンファレンスから完全対面に移行した。毎回の対面研究会では、1~2 名の研究者が報告を行い、関東・関

西在住の研究者,大学院生を中心に常時 20 名程度の参加者による活発な議論が行われ,報告者・参加者双方の研究水準を高めることに大きく貢献した。報告者,論題等詳細は 5。主な発表論文等〔その他〕に記載のホームページを参照されたい。国際水準の拠点形成という目的と整合的に,報告内容はほとんどが英文の未公開研究論文に基づいており,その一部は国内外の学会・コンファレンス等でも報告されている。また,国際ネットワーク形成のために,若手,中堅,および分野を代表する以下の研究者を海外から招聘し,研究を報告してもらうとともに研究交流を行った(オンライン開催を含む)。栗屋祐(ロチェスター大学),福田慧(ボッコロニ大学),市橋翔太(カナダ銀行),野田俊也(プリティッシュコロンビア大学),岩崎康平(ウイスコンシン大学マディソン校),川口康平(香港科技大学),藤原直輝(ロチェスター大学),十河丈晴(SKEMA Business School),山縣昂平(ワシントン大学セントルイス校),天野友道(ハーバード大学),Juan-José Ganuza (Universitat Pompeu Fabra, and Barcelona Graduate School of Economics), Eric Chou (National Tsing Hua University), Harry Pei (Northwestern University)。

(2) サマー・コンファレンス

本研究期間中の毎年 8 月に,サマー・コンファレンスを開催した(2020~2022 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止)。日程と場所は以下の通りである。

- 2018 年 8 月 3~5 日: 釧路公立大学(報告者数 13 名,海外大学からの参加者 1 名を含む)
- 2019 年 8 月 12~14 日: 弘前大学(報告者数 17 名,海外大学からの参加者 1 名を含む)
- 2023 年 8 月 17~19 日: 金沢星稜大学(報告者数 15 名)

サマー・コンファレンスでは主に大学院生,若手研究者の未完成の論文・アイデアを完成に近づけることを目的として,集中的に討議を行った。報告の多くはコンファレンスでの議論をベースに研究論文として完成され,学術雑誌に投稿中である。

(3) East Asian Contract Theory Conference

East Asian Contract Theory Conference は毎年 12 月に開催される国際共同コンファレンスで,2020~2022 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止されたものの,本研究期間に重要な成果を上げることができた。本コンファレンスは 2007 年 12 月に台湾の研究者と Japan-Taiwan Contract Theory Conference としてはじまり,2014 年にはじめて香港にて開催し,名称も Japan-Taiwan-Hong Kong Contract Theory Conference と変更されていた。そして本研究期間の初年度となる 2018 年の第 12 回コンファレンスを,はじめて韓国で開催し,名称も East Asian Contract Theory Conference と変更された。本研究期間における日程と場所は以下の通りである(プログラムは 5。主な発表論文等〔その他〕に記載のホームページを参照のこと)。

- 第 12 回(2018 年 12 月 1 日): 韓国・高麗大学(Korea University)。報告者 8 名(日本 2,台湾 2,香港 2,韓国 1,シンガポール 1)。
- 第 13 回(2019 年 12 月 6 日): 日本・関東学院大学。報告者 8 名(日本 2,台湾 2,香港 2,韓国 2)。
- 第 14 回(2023 年 12 月 5 日): 台湾・台湾中央研究院(Academia Sinica)。報告者 8 名(日本 2,台湾 2,香港 2,韓国 2)。

(4) その他コンファレンス,ワークショップ開催

2018 年 9 月 29 日に,Japanese-German Workshop on Contracts and Incentives を関西大学梅田キャンパスで共催し,日本側 5 名,海外からの招聘研究者 10 名の計 15 名が研究報告を行い,活発な意見交換が行われた。2019 年 9 月 13~14 日に,第 2 回 Japanese-German Workshop on Contracts and Incentives がミュンヘン大学(LMU Munich)にて開催され,日本から 4 名,海外の日本人研究者 2 名を含む 15 名が報告を行った。いずれもプログラムは 5。主な発表論文等〔その他〕に記載のホームページを参照のこと。

CTWE は関西での定期的ワークショップ(CTW)を補完するワークショップで,本研究期間中にオンライン,共催を含め 19 回開催された。報告者,論題等詳細は 5。主な発表論文等〔その他〕に記載のホームページを参照されたい。とりわけ国際ネットワーク形成のために,若手,中堅,および分野を代表する以下の 8 名の海外滞在の研究者に研究報告してもらうとともに研究交流を行った。Desmond Lo (Santa Clara University), Fabian Herweg (University of Bayreuth), Matthias Fahn (JKU Linz), Jiangtao Li (Singapore Management University), Trond E. Olsen (NHH), Ali Palida (MIT), Takuro Yamashita (TSE), Masaki Miyashita (University of Hong Kong)。

(5) その他コンファレンス,セミナーでの報告・研究交流

研究代表者および研究分担者が国内外の学会等で研究報告,研究交流を行った。詳細は 5。主な発表論文等〔学会発表〕を参照されたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計42件（うち査読付論文 37件 / うち国際共著 8件 / うちオープンアクセス 17件）

1. 著者名 Hanazono Makoto, Kudoh Noritaka	4. 巻 -
2. 論文標題 Prominence and Market Power: Asymmetric Oligopoly with Sequential Consumer Search	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 International Economic Review	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/iere.12704	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida Junichiro, Takahara Tsuyoshi	4. 巻 26
2. 論文標題 Should product specific advertisement be regulated in pharmaceutical markets?	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Journal of Public Economic Theory	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jpet.12687	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Kohei, Kodama Naomi, Arita Kentaro, Kazama Haruka, Sakai Saisuke, Takeuchi Masaya, Owan Hideo	4. 巻 -
2. 論文標題 Has Japan's work style reform had the intended effect?	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Applied Economics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/00036846.2024.2331421	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hori Keiichi, Osano Hiroshi	4. 巻 85
2. 論文標題 Information production in start-up firms: SPACs vs. Traditional IPOs	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Journal of Corporate Finance	6. 最初と最後の頁 102543-102543
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jcorpfin.2024.102543	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishiguro Shingo, Yasuda Yosuke	4. 巻 209
2. 論文標題 Moral hazard and subjective evaluation	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of Economic Theory	6. 最初と最後の頁 105619-105619
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2023.105619	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi Murooka, Takuro Yamashita	4. 巻 74
2. 論文標題 Adverse Selection and Bounded Rationality: An Impossibility Theorem	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Japanese Economic Review	6. 最初と最後の頁 439-444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42973-022-00119-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yang Bicheng, Chan Tat, Owan Hideo, Tsuru Tsuyoshi	4. 巻 -
2. 論文標題 Incentives from Career Concerns in a Contract Package: An Empirical Investigation	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Management Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1287/mnsc.2023.4956	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kawata Yuji, Kuroda Sachiko, Owan Hideo	4. 巻 18
2. 論文標題 The impact of a mobile app-based corporate sleep health improvement program on productivity: Validation through a randomized controlled trial	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0287051
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0287051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hideshi Itoh	4. 巻 74
2. 論文標題 What Do Contracts Do to Facilitate Relationships?	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Japanese Economic Review	6. 最初と最後の頁 333-354
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s42973-023-00132-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hideshi Itoh, Kimiyuki Morita	4. 巻 69
2. 論文標題 Information Acquisition, Decision Making, and Implementation in Organizations	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Management Science	6. 最初と最後の頁 446-463
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1287/mnsc.2022.4373	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chia-Hui Chen, Junichiro Ishida, Arijit Mukherjee	4. 巻 152
2. 論文標題 Pioneer, Early Follower or Late Entrant: Entry Dynamics with Learning and Market Competition	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 European Economic Review	6. 最初と最後の頁 104360-104360
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.euroecorev.2022.104360	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Koszegi Botond, Loewenstein George, Murooka Takeshi	4. 巻 89
2. 論文標題 Fragile Self-Esteem	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Review of Economic Studies	6. 最初と最後の頁 2026-2060
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/restud/rdab060	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chen Chia-Hui, Ishida Junichiro, Suen Wing	4. 巻 90
2. 論文標題 Signaling Under Double Crossing Preferences	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Econometrica	6. 最初と最後の頁 1225-1260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3982/ECTA19210	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shingo Ishiguro	4. 巻 73
2. 論文標題 Management Cycles	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Economic Theory	6. 最初と最後の頁 257-300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-020-01337-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Daido Kohei, Tajika Tomoya	4. 巻 10
2. 論文標題 Impact of Information Concerning the Popularity of Candidates on Loss-Averse Voters ' Abstention	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Economic Theory Bulletin	6. 最初と最後の頁 41-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s40505-021-00214-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chia-Hui Chen, Junichiro Ishida	4. 巻 69
2. 論文標題 A War of Attrition with Experimenting Players	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Industrial Economics	6. 最初と最後の頁 239-269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joie.12250	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chia-Hui Chen, Junichiro Ishida, Wing Suen	4. 巻 19
2. 論文標題 Reputation Concerns in Risky Experimentation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of the European Economic Association	6. 最初と最後の頁 1981-2021
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jeea/jvaa046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 室岡健志	4. 巻 13
2. 論文標題 消費者保護政策の経済分析と行動経済学	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 行動経済学	6. 最初と最後の頁 105-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jedc.2019.103794	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koichiro Onishi, Hideo Owan, and Sadao Nagaoka	4. 巻 64
2. 論文標題 How Do Inventors Respond to Financial Incentives? Evidence from Unanticipated Court Decisions on Employees	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Law and Economics	6. 最初と最後の頁 301-339
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1086/712657	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kitagawa Ritsu, Kuroda Sachiko, Okudaira Hiroko, Owan Hideo	4. 巻 16
2. 論文標題 Working from home and productivity under the COVID-19 pandemic: Using survey data of four manufacturing firms	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0261761
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0261761	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuji Kawata, Hideo Owan	4. 巻 63
2. 論文標題 Peer effects on job satisfaction from exposure to elderly workers	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2021.101183	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akifumi Ishihara	4. 巻 32
2. 論文標題 Strategic candidacy for political compromise in party politics	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Politics	6. 最初と最後の頁 389-408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0951629820927082	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akifumi Ishihara	4. 巻 68
2. 論文標題 On Multitasking and Job Design in Relational Contracts	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Industrial Economics	6. 最初と最後の頁 693-736
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joie.12241	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yuki Amemiya, Akifumi Ishihara, and Tomoya Nakamura	4. 巻 30
2. 論文標題 Pre-emptive production and market competitiveness in oligopoly with private information	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Economics & Management Strategy	6. 最初と最後の頁 449-455.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jems.12410	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishihara Akifumi, Oki Ryoko	4. 巻 30
2. 論文標題 Exclusive content in two sided markets	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Economics & Management Strategy	6. 最初と最後の頁 638-654
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jems.12427	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石原章史	4. 巻 720
2. 論文標題 チームワークの効果と課題 組織の経済学の観点から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本労働研究雑誌	6. 最初と最後の頁 24-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊藤秀史	4. 巻 737
2. 論文標題 組織と人事の経済学からみた日本の人材マネジメントの特徴再考	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本労働研究雑誌	6. 最初と最後の頁 42-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hori Keiichi, Osano Hiroshi	4. 巻 111
2. 論文標題 Dynamic contract and discretionary termination policy under loss aversion	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Economic Dynamics and Control	6. 最初と最後の頁 103794-103794
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jedc.2019.103794	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroshi Osano	4. 巻 48
2. 論文標題 Credit default swaps and market information	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Financial Market	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.finmar.2019.06.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinsuke Kambe	4. 巻 14
2. 論文標題 An N person war of attrition with the possibility of a noncompromising type	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Theoretical Economics	6. 最初と最後の頁 849-886
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3982/TE3158	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Junichiro Ishida and Takashi Shimizu	4. 巻 68
2. 論文標題 Cheap talk when the receiver has uncertain information sources	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Economic Theory	6. 最初と最後の頁 303-334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-018-1123-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miura Shintaro, Yamashita Takuro	4. 巻 188
2. 論文標題 Maximal miscommunication	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Economics Letters	6. 最初と最後の頁 108962-108962
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.econlet.2020.108962	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Jin-Hyuk Kim, Takehiko Komatsu, Hideo Owan	4. 巻 69
2. 論文標題 The Role of Design Method and Process Technology in Stable Outsourcing Equilibria	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Industrial Organization	6. 最初と最後の頁 102565
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijindorg.2019.102565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kaori Sato, Sachiko Kuroda, Hideo Owan	4. 巻 246
2. 論文標題 Mental health effects of long work hours, night and weekend work, and short rest periods	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Social Science & Medicine	6. 最初と最後の頁 112774
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.socscimed.2019.112774	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaori Sato, Yuki Hashimoto, Hideo Owan	4. 巻 53
2. 論文標題 Gender Differences in Career	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese and International Economies	6. 最初と最後の頁 101028
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jjie.2019.04.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Shingo, Owan Hideo, Tsuru Tsuyoshi, Uehara Katsuhito	4. 巻 74
2. 論文標題 Multitasking Incentives and the Informative Value of Subjective Performance Evaluations	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ILR Review	6. 最初と最後の頁 511-543
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0019793919891980	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chia-Hui Chen, Junichiro Ishida	4. 巻 66
2. 論文標題 Dynamic Performance Evaluation with Deadlines: The Role of Commitment	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Industrial Economics	6. 最初と最後の頁 377-422
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joie.12174	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chia-Hui Chen, Junichiro Ishida	4. 巻 177
2. 論文標題 Hierarchical Experimentation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Economic Theory	6. 最初と最後の頁 365-404
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jet.2018.06.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shintaro Miura	4. 巻 113
2. 論文標題 Manipulated News Model: Electoral Competition and Mass Media	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Games and Economic Behavior	6. 最初と最後の頁 306-338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.geb.2018.09.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計116件（うち招待講演 21件/うち国際学会 59件）

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 Overcoming Free-Riding in Collective Experimentation: A Dynamic Model of Feedback-Based Information Release
3. 学会等名 International Workshop on Theoretical and Experimental Economics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 Social Learning and Strategic Pricing with Rating Systems
3. 学会等名 Hong Kong Baptist University Microeconomics Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 大湾秀雄
2. 発表標題 People Management Skills, Senior Leadership Skills and the Peter Principle
3. 学会等名 26th Colloquium on Personnel Economics (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 Social Learning and Strategic Pricing with Rating Systems
3. 学会等名 ゲーム理論ワークショップ (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Unawareness and Equilibrium Stability in Misspecified Learning
3. 学会等名 briq Workshop on Beliefs (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Procrastination Markets
3. 学会等名 Hitotsubashi Summer Institute (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Higher-Order Misspecification and Equilibrium Stability
3. 学会等名 Summer Workshop on Economic Theory
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Theory and Identification for Scoring Auctions
3. 学会等名 SAET Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Pay for Performance in Procurement
3. 学会等名 Econometric Society European Meeting (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Pay for Performance in Procurement
3. 学会等名 Workshop at National Tsing-Hua University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Pay for Performance in Procurement
3. 学会等名 Workshop at Nanjing University (online) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Pay for Performance in Procurement
3. 学会等名 関西学院大学セミナー (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大湾秀雄
2. 発表標題 People Management Skills, Senior Leadership Skills and the Peter Principle
3. 学会等名 Asian and Australasian Society of Labour Economics 2023 Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大湾秀雄
2. 発表標題 People Management Skills, Senior Leadership Skills and the Peter Principle
3. 学会等名 Organizational Economics Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大湾秀雄
2. 発表標題 People Management Skills, Senior Leadership Skills and the Peter Principle
3. 学会等名 Society for Institutional & Organizational Economics (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 大湾秀雄
2. 発表標題 Information advantage or Bias due to Social Ties: Evidence from Peer Review System in National Research Grant
3. 学会等名 25th Colloquium on Personnel Economics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Managing Consultation for Money
3. 学会等名 2023 年度日本応用経済学会春季大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Managing Consultation for Money
3. 学会等名 Waseda Organizational Economics Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Managing Consultation for Money
3. 学会等名 大阪大学経済学研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Value of Middle Managers
3. 学会等名 東京理科大学経済学セミナー (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Value of Middle Managers
3. 学会等名 Organizational Economics Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Value of Middle Managers
3. 学会等名 日本經濟学会2023年度秋季大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石黒真吾
2. 発表標題 Relational Contracts and Hierarchy
3. 学会等名 Australasia Meeting of the Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石黒真吾
2. 発表標題 Relational Contracts and Hierarchy
3. 学会等名 8th Workshop on Relational Contracts
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石黒真吾
2. 発表標題 Relational Contracts and Hierarchy
3. 学会等名 Asia Meeting of the Econometric Society, East and South East Asia, (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石黒真吾
2. 発表標題 Relational Contracts and Hierarchy
3. 学会等名 Decentralization Conference (東京大学)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Robust Prediction in Games with Uncertain Parameters
3. 学会等名 一橋大学経済理論ワークショップ
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Robust Prediction in Games with Uncertain Parameters
3. 学会等名 慶應義塾大学ミクロ経済学ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Value of Middle Managers
3. 学会等名 The 21st Annual SAET Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Robust Prediction in Games with Uncertain Parameters
3. 学会等名 2022 AMES in East and South-East Asia (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Robust Prediction in Games with Uncertain Parameters
3. 学会等名 日本経済学会2022年度秋季大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 行動経済学とマーケットデザイン
3. 学会等名 日本経済学会春季大会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Optimal Trade Mechanisms with Adverse Selection and Inferential Naivety
3. 学会等名 Society for the Advancement of Economic Theory (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Optimal Trade Mechanisms with Adverse Selection and Inferential Naivety
3. 学会等名 Decentralization Conference in Japan
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Procrastination Markets
3. 学会等名 日本応用経済学会秋季大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Informal Incentives and Labor Markets
3. 学会等名 Asian and Australasian Society of Labour Economics（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Employee Referral and Performance Evaluations
3. 学会等名 The Osaka Workshop on Economics of Institutions and Organizations
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Managing Consultation for Money
3. 学会等名 2022 Asian Meeting of the Econometric Society in East and South-East Asia (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Managing Consultation for Money
3. 学会等名 2022 日本経済学会秋季大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Pay for Performance in Procurement
3. 学会等名 京都大学経済研究所 ミクロ経済学・ゲーム理論研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Pay for Performance in Procurement
3. 学会等名 AMES 2022 Asian Meeting of Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Pay for Performance in Procurement
3. 学会等名 EARIE 2022, Vienna (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Pay for Performance in Procurement
3. 学会等名 IO/Labor Workshop, Hitotsubashi University
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大湾秀雄
2. 発表標題 Information advantage or Bias due to Social Ties: Evidence from Peer Review System in National Research Grant
3. 学会等名 Asian and Australasian Society of Labour Economics 2022 Conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 水野敬三
2. 発表標題 Strategic Aspects of Bundling to Prevent Information Acquisition
3. 学会等名 The 49th Annual Conference of the European Association for Research in Industrial Economics (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 Social Learning and Strategic Pricing with Rating Systems
3. 学会等名 ゲーム理論ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊藤秀史
2. 発表標題 What Do Legally Unenforceable Formal Contracts Do?
3. 学会等名 日本経済学会秋季大会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊藤秀史
2. 発表標題 Delegation and Decision Process in Organizations
3. 学会等名 University of Glasgow Microtheory Seminar (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊藤秀史
2. 発表標題 Delegation and Decision Process in Organizations
3. 学会等名 University of York Department of Economics and Related Studies Workshop (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊藤秀史
2. 発表標題 A Theory of Teams Based on Image Concerns
3. 学会等名 Keio University Microeconomics Workshop
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石黒真吾
2. 発表標題 Relational Contracts and Hierarchy
3. 学会等名 一橋大学経済研究所 産業・労働ワークショップ
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石黒真吾
2. 発表標題 Moral Hazard and Subjective Evaluation
3. 学会等名 Organisational Economics Workshop in Oz (OEW '20) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石黒真吾
2. 発表標題 Relational Contracts and Savings
3. 学会等名 Australian Economic Theory Workshop 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Value of Middle Managers
3. 学会等名 京都大学経済研究所 ミクロ経済学・ゲーム理論研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Delegation and Strategic Silence
3. 学会等名 University of Talca
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Robust Prediction in Games with Uncertain Parameters
3. 学会等名 The 20 th Annual SAET Conference
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Prudence in Disclosure Games
3. 学会等名 GAMES 2020
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 Signaling under Double-Crossing Preferences
3. 学会等名 IV Spain-Osaka Workshop on Economic Theory
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 The Provision of High-Powered Incentives under Multitasking
3. 学会等名 日本経済学会春季大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 シンポジウム『消費者法の作り方』
3. 学会等名 法と経済学会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Multi-Player Bayesian Learning with Misspecified Models
3. 学会等名 CESifo Area Conference on Behavioural Economics（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Fragile Self-Esteem
3. 学会等名 Decision Theory Workshop (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Procrastination Markets
3. 学会等名 Virtual East Asia Experimental and Behavioral Economics Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Procrastination Markets
3. 学会等名 September Workshop on Economics at Otaru
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Exclusive Content and Captive Consumers in Platforms
3. 学会等名 Summer Workshop on Economic Theory
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Employee Referral and Performance Evaluations
3. 学会等名 2021 Australasia Meeting of the Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Cooperation or Collusion? Rents in Relational Contracts for Teams
3. 学会等名 The 7th Workshop on Relational Contracts (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Employee Referral and Performance Evaluations
3. 学会等名 The 48th Annual Conference of the European Association for Research in Industrial Economics (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Cooperation or Collusion? Rents in Relational Contracts for Teams
3. 学会等名 第27回DCコンファレンス
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 プラットフォーム市場におけるマルチホーミングとエコシステム
3. 学会等名 September Workshop on Economics at Otaru 2021
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Delegation and Strategic Silence
3. 学会等名 Organisational Economics Workshop in Oz (OEW '21) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Theory, Identification, and Estimation for Scoring Auctions
3. 学会等名 Microeconomics Workshop, Keio University
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Pay for Performance in Procurement
3. 学会等名 Winpec Micro Workshop, Waseda University
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Pay for Performance in Procurement
3. 学会等名 Sapporo Workshop on Industrial Economics
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊藤秀史
2. 発表標題 A Theory of Teams Based on Image Concerns
3. 学会等名 Organisational Economics Workshop in Oz (OEW '21) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石黒真吾
2. 発表標題 Relational Contracts and Savings
3. 学会等名 モナシユ大学経済学部定例研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石黒真吾
2. 発表標題 Relational Contracts and Savings
3. 学会等名 シドニー工科大学ビジネススクール定例研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石黒真吾
2. 発表標題 Relational Contracts and Savings
3. 学会等名 シドニー大学経済学部定例研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石黒真吾
2. 発表標題 Moral Hazard and Subjective Evaluation
3. 学会等名 慶應義塾大学経済学部ミクロ経済学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石黒真吾
2. 発表標題 Management Cycles
3. 学会等名 Asian Pacific Industrial Organization Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 水野敬三
2. 発表標題 Excess Joint Ventures with Strategic Technology Non-Adoption
3. 学会等名 20th Annual Meeting of the Association for Public Economic Theory (PET2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 水野敬三
2. 発表標題 Excess Joint Ventures with Strategic Technology Non-Adoption
3. 学会等名 46th Annual Conference of the European Association for Research in Industrial Economics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 水野敬三
2. 発表標題 Excess Joint Ventures with Strategic Technology Non-Adoption
3. 学会等名 66th Annual North American Meetings of the regional Science Association International (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石田潤一郎
2. 発表標題 Reputation concerns in risky experimentation
3. 学会等名 III Spain-Osaka Workshop on Economic Theory (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Market Structure and Price Dispersion: Asymmetric Oligopoly with Sequential Consumer Search
3. 学会等名 AMES 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Market Structure and Price Dispersion: Asymmetric Oligopoly with Sequential Consumer Search
3. 学会等名 MaCCI Annual 2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Asymmetric Product Line and Multi-homing
3. 学会等名 2019 International Conference on Labor, Industrial Economics, and Growth (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Pre-emptive Production and Market Competitiveness in Oligopoly with Private Information
3. 学会等名 The 46th Annual Conference of the European Association for Research in Industrial Economics (EARIE) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Employee Referral and Performance Evaluations
3. 学会等名 日本経済学会2019年度秋季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Exclusive Content with Captive Consumers in Platforms
3. 学会等名 The Asia Pacific Industrial Organization Conference (APIOC) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Zero Prices: Optimal Pricing of Experience Goods under Consumer Loss Aversion
3. 学会等名 Industrial Organization Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Fragile Self-Esteem
3. 学会等名 briq Workshop on Beliefs (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Deception under Competitive Intermediation
3. 学会等名 Osaka Workshop on Economics of Institutions and Organizations
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 The Development of Consumer Credit Plans: Theory and Historical Evidence from U.S. Mail-Order Catalogs
3. 学会等名 Kyoto Summer Workshop on Applied Economics
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 The Development of Consumer Credit Plans: Theory and Historical Evidence from U.S. Mail-Order Catalogs
3. 学会等名 Summer Workshop on Economic Theory
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Deception under Competitive Intermediation
3. 学会等名 Decentralization Conference
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Inferior Products and Profitable Deception
3. 学会等名 Association of Behavioral Economics and Finance Annual Conference (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 室岡健志
2. 発表標題 Fragile Self-Esteem
3. 学会等名 Workshop on Behavioral Economics
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Prudence in Persuasion
3. 学会等名 EEA-EAEM 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤秀史
2. 発表標題 A Theory of Turnover and Team Incentives Based on Image Concerns
3. 学会等名 Erasmus University Rotterdam/Tinbergen Institute Seminar
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤秀史
2. 発表標題 Changing Japanese Contracting Practices Meet Theories of Relational Incentive Contracts(日本的取引慣行の変化と関係的インセンティブ契約の理論)
3. 学会等名 法と経済学会2019年度(第17回)全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤秀史
2. 発表標題 Relational Incentive Contracts with Hidden Action and Unequal Discounting
3. 学会等名 Queen's Economics Department (QED) Microeconomics Workshop
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤秀史
2. 発表標題 Image Concerns in Teams
3. 学会等名 22nd Annual Conference of the Society for Institutional & Organizational Economics (SIOE) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 水野敬三
2. 発表標題 Joint ventures and Technology Adoption
3. 学会等名 16th Annual International Industrial Organization Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 水野敬三
2. 発表標題 Joint ventures and Technology Adoption
3. 学会等名 2018 Econometric Society Australasian Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Managing Information and Incentives for Choice and Execution in Relational Contracts
3. 学会等名 22nd Annual Conference of the Society for Institutional & Organizational Economics (SIOE) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 An Incomplete Contract Approach to Authority in Organizations for Choice and Execution
3. 学会等名 日本経済学会2018年度春季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 Managing Information and Incentives for Choice and Execution in Relational Contracts
3. 学会等名 45th Annual Conference of the European Association for Research in Industrial Economics (EARIE) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石原章史
2. 発表標題 An Incomplete Contract Approach to Authority in Organizations for Choice and Execution
3. 学会等名 Asia Pacific Industrial Organization Conference (APIOC) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 An Incomplete Contract Approach to Authority in Organizations for Choice and Execution
3. 学会等名 22nd Annual Conferene of the Society for Institutional & Organizational Economics (SIOE) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三浦慎太郎
2. 発表標題 Prudence in Persuasion
3. 学会等名 Econometric Society Australasian Meeting 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Market Structure and Price Dispersion: Asymmetric Oligopoly with Sequential Consumer Search
3. 学会等名 数理経済学会年次集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 花園誠
2. 発表標題 Market Structure and Price Dispersion: Asymmetric Oligopoly with Sequential Consumer Search
3. 学会等名 Asia Pacific Industrial Organization Conference (APIOC) (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 阿部修人, 大湾秀雄, 田中隆一, 谷崎久志	4. 発行年 2023年
2. 出版社 一般社団法人日本経済学会	5. 総ページ数 327
3. 書名 現代経済学の潮流2023	

1. 著者名 水野敬三編著 (+ 猪野弘明, 小嶋健太, 三木潤一, 高林喜久生, 川崎雄二郎, 松枝法道)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 中央経済社	5. 総ページ数 190
3. 書名 地域活性化の経済分析	

1. 著者名 室岡健志	4. 発行年 2023年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 260
3. 書名 行動経済学	

1. 著者名 石田潤一郎 玉田康成	4. 発行年 2020年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 292
3. 書名 情報とインセンティブの経済学	

1. 著者名 中泉拓也	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 288
3. 書名 Urban Studies and Entrepreneurship: How can Cities Foster Entrepreneurship?	

1. 著者名 中泉拓也	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 391
3. 書名 Contemporary Issues in Applied Economics: Ten Years of International Academic Exchanges Between JAAE and KAAE	

1. 著者名 伊藤秀史, 小林創, 宮原泰之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 414
3. 書名 組織の経済学	

1. 著者名 花園誠	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 308
3. 書名 有斐閣ストゥディア 産業組織とビジネスの経済学	

〔産業財産権〕

〔その他〕

Contract Theory Workshop: <https://sites.google.com/view/ctwz/>
 CTW Summer Camp: <https://sites.google.com/site/ctwcamp>
 Contract Theory Workshop East: <https://sites.google.com/site/ctweast/>
 East Asian Contract Theory Conferenceホームページ: <https://www4.fbe.hku.hk/~wsuen/research/jptwhk.html>
 Japanese-German Workshop on Contracts and Incentives: <https://sites.google.com/site/takeshimurookaweb/home/japanese-german-workshop>
 2nd Japanese-German Workshop on Contracts and Incentives: https://drive.google.com/file/d/1vxKjjw1My102524NEj79RaQ9lZ_oRNOW/view

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	室岡 健志 (Murooka Takeshi) (10796345)	大阪大学・国際公共政策研究科・准教授 (14401)	
研究分担者	水野 敬三 (Mizuno Keizo) (40229703)	関西学院大学・商学部・教授 (34504)	
研究分担者	石田 潤一郎 (Ishida Junichiro) (40324222)	大阪大学・社会経済研究所・教授 (14401)	
研究分担者	石黒 真吾 (Ishiguro Shingo) (60288496)	大阪大学・経済学研究科・教授 (14401)	
研究分担者	花園 誠 (Hanazono Makoto) (60362406)	名古屋大学・経済学研究科・教授 (13901)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	大湾 秀雄 (Owan Hideo) (60433702)	早稲田大学・政治経済学術院・教授 (32689)	
研究分担者	大洞 公平 (Daido Kohei) (70388354)	関西学院大学・経済学部・准教授 (34504)	
研究分担者	三浦 慎太郎 (Miura Shintaro) (80632794)	神奈川大学・経済学部・准教授 (32702)	
研究分担者	石原 章史 (Ishihara Akifumi) (80643668)	東京大学・社会科学研究所・教授 (12601)	
研究分担者	小佐野 広 (Osano Hiroshi) (90152462)	甲南大学・経済学部・特任教授 (34506)	
研究分担者	神戸 伸輔 (Kambe Shinsuke) (90276048)	学習院大学・経済学部・教授 (32606)	
研究分担者	中泉 拓也 (Nakaizumi Takuya) (00350546)	関東学院大学・経済学部・教授 (32704)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計5件

国際研究集会 Japanese-German Workshop on Contracts and Incentives	開催年 2019年～2019年
--	--------------------

国際研究集会 East Asian Contract Theory Conference	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Japanese-German Workshop on Contracts and Incentives	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 East Asian Contract Theory Conference	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 East Asian Contract Theory Conference	開催年 2023年～2023年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------